

科目名		授業形態	担当教員名	
集中治療医学		講義	阪本 壮志・石川 倫子・布江田 友里 井上 和久・遠藤 宏和	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
集中治療室での業務に必要なとなる臨床検査データの解析、人工呼吸器の操作方法や内容理解、アフエレンス療法などの基礎力修得を目指す。				
授業の到達目標				
臨床工学技士として、集中治療室勤務をするために必要な知識や技術を身につけることを目指す。				
授業計画				
回	内容			
1	検査データについて(石川)			
2	血液検査(石川)			
3	生化学検査(石川)			
4	血液ガス(石川)			
5	集中治療領域における検査データの特徴(石川)			
6	人工呼吸器の構造と原理(1)人工呼吸器回路構成・部品の理解(布江田)			
7	人工呼吸器の構造と原理(2)人工呼吸器設定項目・アラーム対応(布江田)			
8	人工呼吸器モニタ波形(1)呼吸器疾患によるモニタ波形の理解(布江田)			
9	人工呼吸器モニタ波形(2)呼吸器疾患に対する設定変更(布江田)			
10	呼吸不全評価(布江田)			
11	急性期・慢性期における血液透析(井上)			
12	急性血液浄化(井上)			
13	アフエレンス療法(井上)			
14	救急・集中医療体制(遠藤)			
15	集中治療でのモニタリング・臓器評価(遠藤)			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	80%	(石川)検査データからある程度の病態を読み解き、集中治療領域特有のデータについて理解できているか確認する。		
	40%	(布江田)人工呼吸器・部品の機能を理解し、患者様の状態に対して設定変更を思考できる点を評価基準とする。		
	90%	(井上)集中治療室業務に従事する臨床工学技士に必要な基礎知識を修得できたか確認する。		
	100%	(遠藤)救急医療ならびに集中治療における必要な知識を評価する。		
レポート・課題	20%	(石川)課題に対し、問われている内容を理解し、自らの考えを理論的に述べているかを評価する。		
小テスト	40%	(布江田)テーマごとに行い、理解度を定量評価する。		
平常点	20%	(布江田)授業態度や予習復習によって評価する。		
	10%	(井上)授業態度、姿勢を基に評価する。		
その他				
自由記載	3部門を均等に評価し、総合評価で60点以上を合格とする。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
異常値の出るメカニズム	河合 忠		医学書院	
自由記載				
備考				